

第4章 大阪・関西における広報展開

1. ポスター・リーフレット・デジタルサイネージによる情報発信

(1) G20サミットロゴマークの活用

G20サミットは世界の経済成長と繁栄のためのフォーラムであり、2019年に日本が初めて議長国となることから、議長国である日本ならではのサミットを国内外に印象付けるため、国がロゴマークを制作した。

ロゴマークのデザインは、2018年7月9日から8月31日までの間、国民からデザインを募集した。クリエイティブディレクターの佐藤可士和氏を座長とし、松井会長(役職は当時のもの)も審査委員を務めたG20サミットロゴマーク選考会等の審査を経て安倍総理が決定し、2018年11月27日に公表された。



G20サミットロゴマーク

(参考:G20サミットロゴマークに関する説明)

※首相官邸ホームページ (<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/G20osaka/index.html>) から引用

・制作者による作品の説明

日本の象徴である富士山をモチーフにデザインしました。富士山の「頂」と「旭日」は、議長国日本から「世界の経済成長と繁栄」をもたらす象徴としました。また、富士の裾野には春

の訪れ(経済成長と繁栄)を告げる桜の花びらを咲かせました。

・G20サミットロゴマーク選考会座長評

多くの方に親しまれる富士山、桜と、堂々としたG20 2019 JAPANのタイポグラフィ(※)で、日本らしさを、端的にインパクトを持って発信しています。伊勢志摩サミットのロゴマークと色合いが共通しており、伊勢志摩サミットの成功を今回のG20サミットにつなげることを表現できている作品だと思います。

(※)タイポグラフィ:デザインにおいて、活字の書体や、字配り等の構成及び表現(三省堂「大辞林第三版」より)

当協議会では、政府ロゴマークの下部に大阪城を模した「OSAKA SUMMIT」の文字列を追記し、サミットを示すロゴマークとして広報展開に活用した。



「OSAKA SUMMIT」の文字列を追記したG20サミットロゴマーク

(2) ポスター・リーフレット等の配布

当協議会では、サミット開催までの期間を次のとおり3つのステージに分け、それぞれのステージにふさわしい内容のポスター・リーフレットを制作した。さらにポスター・リーフレットの基本デザインを活用して、デジタルサイネージやプロ

モーション動画、バナーフラッグ・懸垂幕等によるシティドレッシング、テレビCMの放映等を行い、サミット開催に向けた開催周知、理解促進及び機運醸成に努めた。

なお、掲出にあたっては、府・市及びその関係団体、経済3団体(公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会)等の協力を得た。特に、第2ステージ以降は、鉄道会社等10社をはじめとする企業に多大な協力をいただいた。またサミットの広報活動を応援するため、自主的に自社の施設や設備を活用してポスター等の掲出にご協力くださる企業・団体もあった。

※鉄道会社等:

大阪高速鉄道株式会社、大阪市高速電気軌道株式会社、大阪シティバス株式会社、北大阪急行電鉄株式会社、近畿日本鉄道株式会社、京阪電気鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社

① 第1ステージ「周知」

【2018年6月配布開始】

【英語：2018年9月配布開始】

第1ステージ「周知」では、サミットが2019年6月に開催されることや、サミットを大阪・関西で開催する意義等について、大阪・関西の住民・事業者の皆さまに広く知っていただくことを目的として、ポスター・リーフレットを制作し、2018年6月から配布した。

また、駐日外国公館での開催周知や海外で開催されるMICE展示会での配布を想定した英語表記のポスター・リーフレットを制作し、2018年9月から配布を開始した。

② 第2ステージ「理解促進」

【2019年1月配布開始】

【多言語：2019年3月配布開始】

第2ステージ「理解促進」では、サミットの開催周知にとどまらず、サミットとは何か、サミットを大阪・関西で開催する意義等についての理解

を、大阪・関西の住民・事業者の皆さまに深めてもらい、参画のステージへとつなげることを目的として、ポスター・リーフレットを制作し、2019年1月から配布した。

キャッチコピーは「大阪で、世界の未来をつくる。大阪・関西のホスピタリティであたたかくお迎えしましょう。」とし、サミットの意義、大阪・関西で開催するメリット、G20サミットロゴマーク周知、交通総量抑制への協力要請等の内容を盛り込んだ。なお、このキャッチコピーは第3ステージ(参画)においても継続して活用した。

また、来阪外国人旅行者への開催周知や交通総量抑制への協力要請を行うため、多言語(英語、中国語〔簡体字・繁体字〕、韓国語)表記のポスター・リーフレットを制作し、2019年3月から配布を開始した。

その他、2019年3月23日(土)に大阪府内の新聞5大紙(読売、毎日、朝日、産経、日経)購読世帯への折込広告(約256万枚)を実施し、サミット開催にかかる認知度向上を図った。

③ 第3ステージ「参画」

【2019年6月配布開始】

第3ステージ「参画」では、大阪・関西の住民・事業者の皆さまに対し、広くサミットの周知・理解促進を図るとともに、住民・事業者の生活全般に影響がでることに対する理解を求め、協力を要請することを目的として、ポスター、リーフレットを制作した。

サミットの開催を間近に控えていることをふまえ、「最高のホスピタリティであたたかくお迎えしましょう」というメッセージを住民へ伝えるとともに、交通規制をはじめ、住民・事業者の皆さまの生活に影響がでることが予想されるため、「電車の利用」、「マイカー利用の自粛」、「業務用車両の運行調整」、「不要不急の外出を控える」の4つを中心として、住民・事業者の皆さまへお願いする内容を簡潔にまとめ、周知した。

その他、サミット開催直前である2019年6月22日(土)に大阪府内の新聞5大紙購読世帯への折込広告(約251万枚)を実施した。なお、折込広告

の表面については大阪市内版と大阪市内外版を区別し、大阪市内版には「大阪市内におけるごみ収集
 の変更」を記載した。

(参考) ポスター・リーフレット制作枚数

	ポスター	リーフレット
第1ステージ「周知」	B2縦:20,000枚 B2縦(英語):50枚	A4縦両面:160,000枚 A4縦両面(英語):3,000枚
第2ステージ「理解促進」	B1縦:1,000枚 B2縦:15,000枚 B3横:25,000枚 B3縦ユポ:300枚 A2縦:5,000枚 A3横:10,000枚 B2縦(多言語):500枚	A4縦両面:410,000枚 A4縦両面(多言語):20,000枚
第3ステージ「参画」	B2縦:10,000枚 B3横:15,000枚	A4縦両面:230,000枚

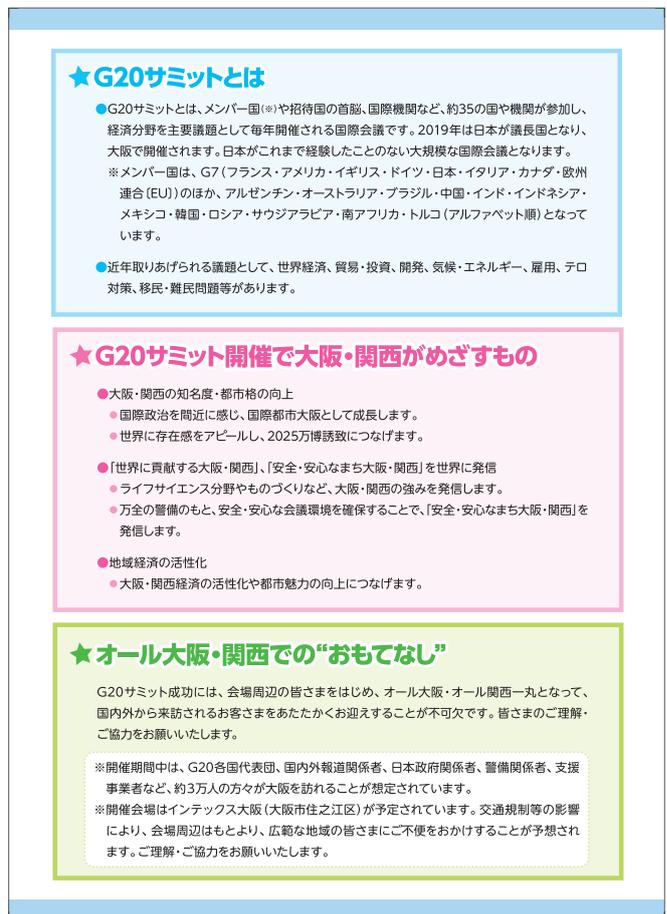
第1ステージ「周知」



開催周知ポスター



開催周知リーフレット 表面



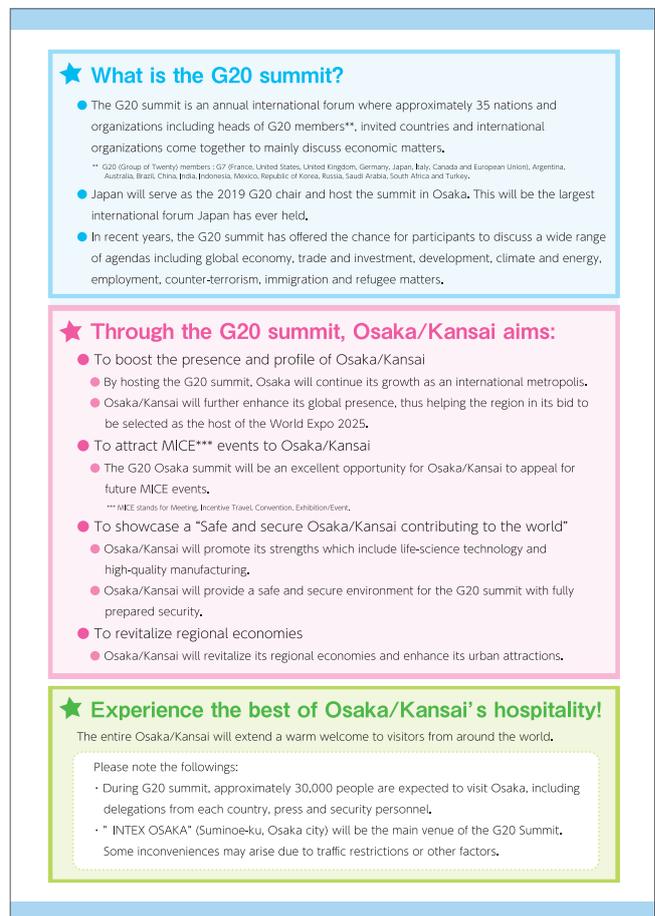
開催周知リーフレット 裏面



英語ポスター



英語リーフレット 表面



英語リーフレット 裏面

第2ステージ「理解促進」



理解促進ポスター



理解促進リーフレット 表面



理解促進リーフレット 裏面



多言語ポスター



多言語リーフレット 表面



多言語リーフレット 裏面

第3ステージ「参画」



協力要請ポスター



協力要請リーフレット 表面



協力要請リーフレット 裏面

G20 2019 JAPAN OSAKA

大阪で、世界の未来をつくる。
大阪・関西のホスピタリティであたたかくお迎えしましょう。

G20大阪サミット 6.28TH・29^{SAT}
インテックス大阪(大阪国際見本市会場)

みなさまへのお願い

交通規制をはじめ、みなさまの生活に影響が出る事が予想されます。

- 電車の利用
- マイカー利用の自粛
- 業務用車両の運行調整
- 不要不急の外出を控える

公共交通機関、**学校の休校措置**、**公共施設窓口業務の減縮緩和**、**大阪市内におけるごみ収集の変更**

G20大阪サミット関連施設等の上におけるドローン等の飛行については禁止されています。

詳しくは ▶ <https://www.2019-g20-osaka.jp/>

新聞折込広告 表面(大阪市内版)

G20 2019 JAPAN OSAKA

大阪で、世界の未来をつくる。
大阪・関西のホスピタリティであたたかくお迎えしましょう。

G20大阪サミット 6.28TH・29^{SAT}
開催場所 ▶ インテックス大阪(大阪国際見本市会場)

みなさまへのお願い

交通規制をはじめ、みなさまの生活に影響が出る事が予想されます。

- 電車の利用
- マイカー利用の自粛
- 業務用車両の運行調整
- 不要不急の外出を控える

公共交通機関、**学校の休校措置**、**公共施設窓口業務の減縮緩和**

G20大阪サミット関連施設等の上におけるドローン等の飛行については禁止されています。

詳しくは ▶ <https://www.2019-g20-osaka.jp/>

新聞折込広告 表面(大阪市外版)

G20大阪サミット開催に伴う 交通規制のお知らせ

6月27日(木)～30日(日)

大阪市内一環状や高速道路を中心に、大規模な交通規制を実施。
一環状において、大塚野1次線・中央1次線・大塚野1上線・
東山1次線・東山1下線などの主要なエリアが対象となります。

交通規制は安全を最優先とし、車利用の減少により大渋滞となる事が予想されるため、最悪中の交通混雑、平日通常時の50%程度を目標としています。電車の利用、マイカー利用の自粛、業務用車両の運行調整などご協力をお願いします。また、インテックス大阪(大阪国際見本市会場)をはじめ、各関係団体が協賛するシステム周辺一環状、大塚野、東山国際見本市会場、交通規制等により立ち寄り困難となるため、不要不急の外出は控えるようお願いします。

最新情報は ▶ 大阪府警ホームページをご覧ください

新聞折込広告 裏面(大阪市内版、大阪市外版で共通)

(3) デジタルサイネージへの掲出

当協議会では、第2ステージのポスターデザインを活用した静止画及びスライド動画を制作し、鉄道会社等の協力を得て、2019年1月以降、デジタルサイネージによる広報を行った。

特に、2019年3月以降は、キタ(梅田地域)、ミナミ(なんば・心斎橋地域)の繁華街に設置された大型ビジョン(街中ビジョン)において、後述する開催周知プロモーション動画を放映することにより、サミット開催への認知度向上を図った。

(参考)街中ビジョンでの放映場所等

場所	内容	期間
阪急BIGMAN	開催周知プロモーション動画(30秒)	3月28日～4月3日、4月27日～5月10日、6月2日～6月29日
Yodobashi-Vision梅田	開催周知プロモーション動画(30秒)	3月29日～4月4日、4月24日～5月7日
うめだHEP前プレミアムビジョン	開催周知プロモーション動画(30秒)	6月17日～6月30日
JR大阪駅構内BIGデジタルサイネージ	開催周知プロモーション動画(30秒)	6月10日～6月30日
心斎橋OPAビジョン	開催周知プロモーション動画(30秒)	3月25日～3月31日、4月27日～5月10日、6月2日～6月29日
トンボリステーション	開催周知プロモーション動画(30秒)	3月28日～4月3日、4月27日～5月10日、6月2日～6月29日
なんば戎橋ビジョン	開催周知プロモーション動画(30秒)	3月28日～4月3日、4月27日～5月10日、6月2日～6月29日
コクミン心斎橋BIGデジタルサイネージ	開催周知プロモーション動画(30秒)	5月1日～5月15日、6月2日～6月29日
JR西日本/ 関西空港駅改札デジタルサイネージ	開催周知プロモーション動画(30秒)	5月1日～6月30日

(参考)その他のデジタルサイネージ(期間は項目によって異なる)

項目	内容
JR西日本大阪駅サイネージ(横断歩道前)	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
阪急梅田エントランスビジョン(横断歩道前)	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
いまざとライナー(BRT)車内サイネージ	開催周知プロモーション動画
ドコモサイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
府・市所管施設のサイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
Osaka Metro 所有サイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
阪急電鉄株式会社 所有サイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
阪神電気鉄道株式会社 所有サイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
京阪電気鉄道株式会社 所有サイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
西日本旅客鉄道株式会社 所有サイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
大阪高速鉄道株式会社 所有サイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
近畿日本鉄道株式会社 所有サイネージ	スライド動画(静止画)
南海電気鉄道株式会社 所有サイネージ	スライド動画(静止画)、開催周知プロモーション動画
三井不動産大型店舗(ららぽーと等)サイネージ	開催周知プロモーション動画
関西圏主要銀行における店舗内サイネージ	静止画、開催周知プロモーション動画
大学内サイネージ	静止画、開催周知プロモーション動画
大阪シティ信用金庫 ビジョン	静止画、開催周知プロモーション動画
インテックス大阪 デジタルサイネージ	静止画

2. マスメディアやWeb広告による情報発信

(1) 広報活動の強化及び多角化

2018年12月に大阪府警察が実施したアンケート結果をふまえ、これまでの地元住民・事業者の皆さまを中心とした広報活動だけでなく、大阪・関西広域で、交通総量抑制や交通規制に対する理解・協力を深め、歓迎・参画機運を醸成するため、「人が集まる場所での広報強化」や「活用するメディアの多角化」に力点を置いた広報活動を展開することとした。

(2) 開催周知プロモーション動画の制作

当協議会では、ユーモアを交えてサミット開催への期待感を周知することにより、サミットへの関心や認知度向上を図るため、開催周知プロモーション動画を2019年3月に制作した。

また、大阪観光シンボルキャラクターである、関ジャニ∞の村上信五さんと横山裕さん(※)からのメッセージをこの動画へ追加し、デジタルサイネージやWeb広告での放映に活用した。

(※)2019年3月20日に開催した「G20大阪サミット開催100日前カウントダウンボード除幕式」に登壇。



(3) マスメディアを活用した情報発信

当協議会では、マスメディアを活用した情報発

信として、テレビCM、ラジオCM、新聞広告を実施した。

テレビCMでは、住民や事業者への協力要請が簡潔に伝わるよう制作するとともに、2019年6月19日から25日まで大阪府警察によるテレビCMの放送が予定されていたことから、放送時期が重ならないように配慮した。

ラジオCMでは、視聴者である運転者に対して、サミット開催による交通規制への理解促進や協力要請を呼びかけた。

新聞広告では、5段広告(紙面の3分の1)の上にサミットに関する各紙の特集記事を掲載するよう働きかけ、記事との相乗効果により読者への理解促進やサミット開催への協力要請を実施した。

(参考) マスメディアの媒体及び発信内容等

項目	媒体	期間
テレビCM (15秒)	関西キー局	6月7日～6月18日
ラジオCM (20秒)	FM802、ABCラジオ、 MBSラジオ	5月10日～5月16日、 6月6日～6月26日
新聞広告 (5段)	新聞5大紙(読売、毎日、朝日、産経、日経)の関西版	朝刊2回、夕刊2回 ※日経のみ朝刊1回



テレビCM

(4) Web広告を活用した情報発信

当協議会では、前述のとおりマスメディアを活用した情報発信を図るとともに、マスメディアを補完する広報媒体として、SNSによるWeb広告を実施し、無関心層への認知度向上を図った。

特に、BuzzFeedによる広告においては、2019年6月10日にTwitter日本のトレンドで1位を記録するなど、顕著な注目を集め、話題喚起を

図るとともに、起こりうる大規模な交通規制に対するポジティブな認知形成を図ることができた。

(参考) Twitterトレンド入りの条件(一部抜粋)

トレンドはアルゴリズムによって決定され、ここ数日や1日で話題になったトピックではなく、今まさに注目されているトピックが選び出される。

(参考) Web広告の媒体及び発信内容等

項目	内容	期間
YouTube TrueView広告	開催周知プロモーション動画	3月25日～31日、5月10日～5月16日、5月27日～6月16日
Yahoo! Japan プラバネビジョン	開催周知プロモーション動画	3月27日～31日
Facebook Link Ad	開催周知プロモーション動画	5月10日～5月16日、5月27日～6月16日
Twitter プロモツイート Video Websitecard	開催周知プロモーション動画	5月10日～5月16日、5月27日～6月16日
BuzzFeed	これがわかれば「関西人」。めちゃムズイ#せやなクイズ	4月26日～5月31日
	【激ムズ】#大阪にしかない用語クイズ	6月7日～6月30日

3. 公式ホームページやSNSによる情報発信

(1) 公式ホームページによる情報発信

当協議会は、サミットの概要や開催意義を伝え、交通規制をはじめとする生活全般への影響に対する理解と協力をお願いするとともに、大阪・関西の魅力の世界に発信することを目的として、2018年6月28日に公式ホームページを開設した。

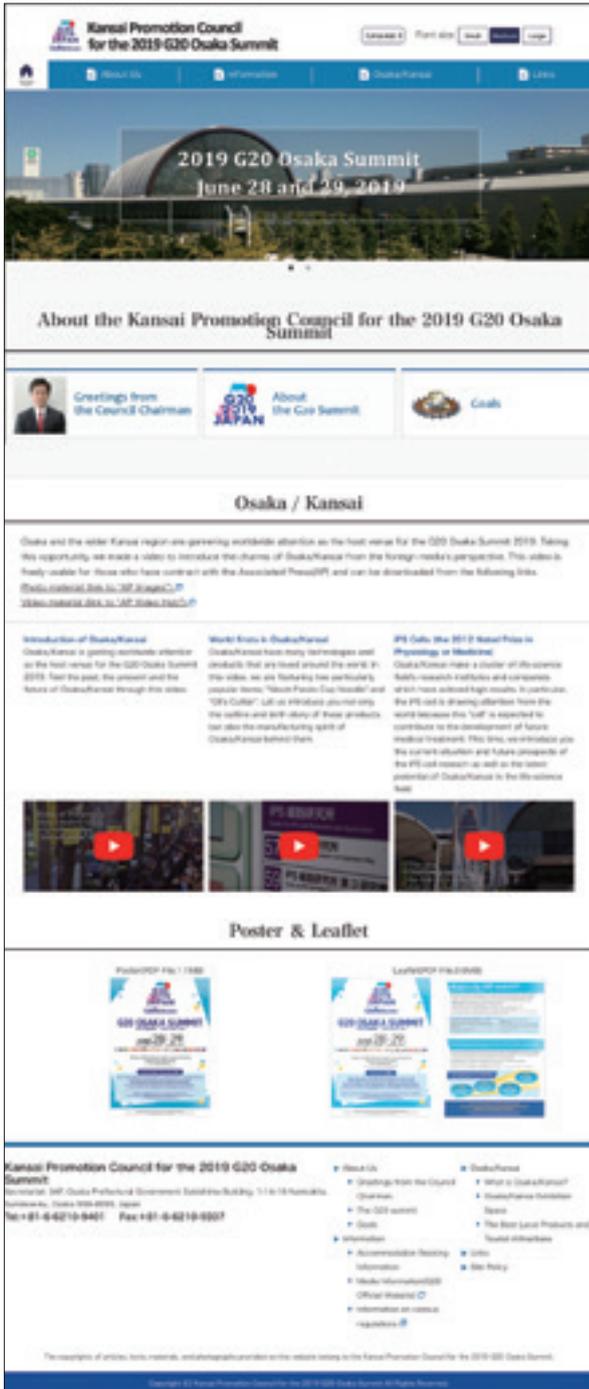
日本語以外に、多言語(英語、中国語〔簡体字・繁体字〕、韓国・朝鮮語)に対応するとともに、スマートフォン等へのレスポンス対応とすることにより、特にサミット開催期間の来阪外国人旅行者に対して、スマートフォンで交通情報や災害情報等を容易に取得できるよう工夫した。

① ドメイン及びサイトイメージ

<https://www.2019-g20-osaka.jp/>
日本語トップページ



英語トップページ



中国語(簡体字)トップページ



中国語(繁体字)トップページ



韓国・朝鮮語トップページ



日本語トップページ(スマートフォン)

2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会
Kansai Promotion Council for the 2019 G20 Osaka Summit

メニュー

G20大阪サミットへのみなさまのご協力ありがとうございました。

2019年 G20大阪サミット 関西推進協力協議会について

MESSAGE
協議会会長の挨拶
協議会会長(大阪府知事)からのメッセージです。

SUMMIT
G20サミットについて
G20大阪サミットの概要をご説明します。

GOALS
開催意義
G20大阪サミットの開催意義についてご説明します。

新着情報 ▶ 一覧表示

開催支援 2019.07.22
2019年G20大阪サミット 大阪・関西歓迎レセプションを開催しました

入札・契約 2019.07.11
【終了しました】2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会公式記録誌等の制作及び配付業務委託にかかる一般競争入札(再入札)を実施します

お知らせ 2019.06.30
G20大阪サミット プレスダイニング及び代表團レ

ストランについて

プレスリリース 2019.06.29

G20大阪サミットで首脳及び配偶者の方々に記念品を贈呈しました

プレスリリース 2019.06.27

プレスキットについて

トピックス

2019.06.27

G20大阪サミットにおける国際メディアセンター内の「大阪・関西魅力発信スペース」について

2019.05.22

G20大阪サミットロゴマーク入りの広報シートのご活用について

2019.04.15

当協議会を名乗る不審な電話やメールにご注意ください

2019.03.27

G20消費者政策国際会合 in 徳島について

2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会 公式SNS





大阪・関西の魅力発信



子ども向け理解促進



プロモーション動画



ポスター・リーフレット

- ▶ 協議会情報
 - 協議会会長挨拶
 - G20サミットについて
 - 開催意義
 - リンク集
 - お知らせ
- ▶ 開催支援情報
 - 宿泊予約情報
 - ボランティア情報
 - 寄附・協賛募集情報
 - イベント情報
 - イベントへの参加
- ▶ 規制情報全般
 - 規制情報全般
 - 住民説明会等
 - よくあるご質問
- ▶ 大阪・関西の魅力発信
 - 大阪・関西の魅力発信
 - 地元産品・観光資源
 - プレスツアー
 - 大阪・関西魅力発信ス
ベース（英語併記）
 - プレスキット
 - ▶ プレスリリース
 - プレスリリース
 - 取材情報
 - ▶ 入札・契約情報
 - ▶ サイトポリシー
 - ▶ ソーシャルメディア運用
ポリシー

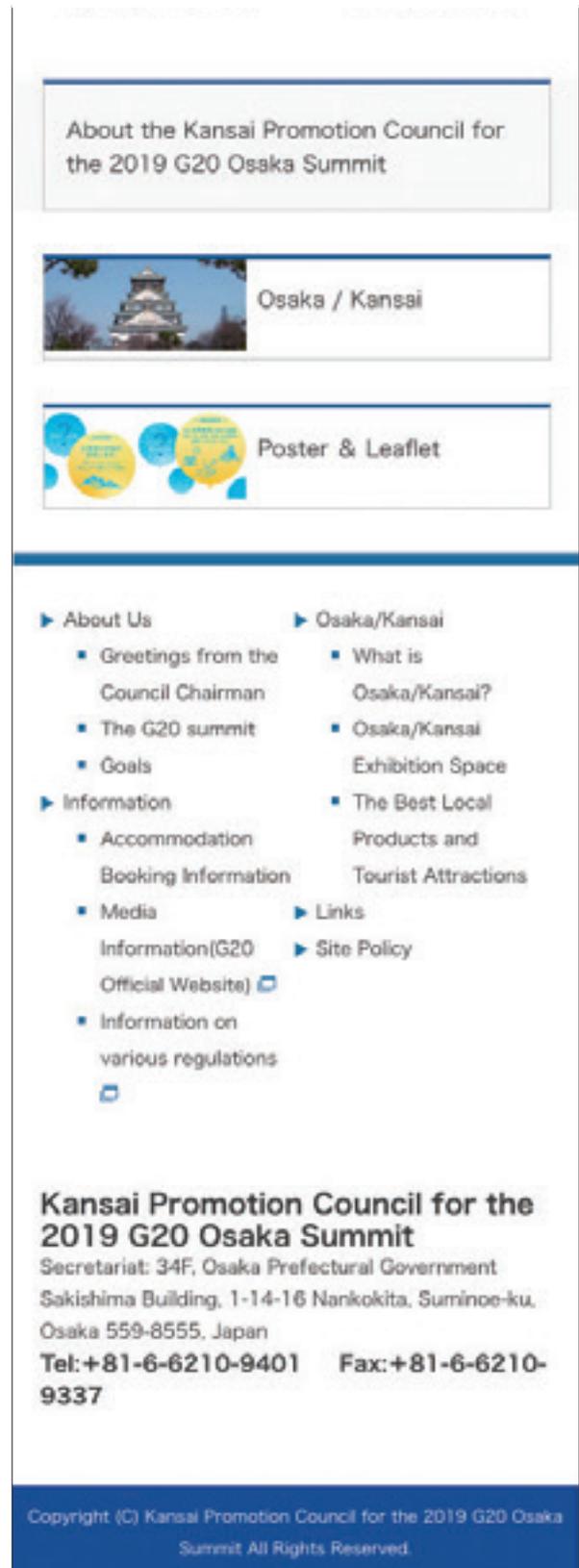
2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会

〒559-8555大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎（ささしまコスモタワー）34階 ☎

電話：06-6210-9400 ファックス：06-6210-9337

Copyright (C) Kansai Promotion Council for the 2019 G20 Osaka Summit. All Rights Reserved.

英語トップページ(スマートフォン)



中国語(簡体字)トップページ(スマートフォン)



中国語(繁体字)トップページ(スマートフォン)

關西2019年G20大阪峰會推廣委員會
Kansai Promotion Council for the 2019 G20 Osaka Summit

Menu

Welcome to Osaka/Kansai!

	
旅遊信息(大阪)	安全檢查
	
峰會詳情	防災
	
機場信息	鐵路(Osaka Metro)
	
電車(南海)	鐵路(JR)
	
高速船	豪華機場大巴

關於2019年G20大阪峰會的關西推進委員會

 大阪/关西(English)

 海報和傳單

關於我們

- 來自理事會主席的問候
- G20峰會
- 透過G20峰會，大阪/關西的目標

信息

- 有關各種法用的信息

關西2019年G20大阪峰會推廣委員會
大阪市住之江区南港北1-14-16大阪府咲洲政府館34層 559-8555
Tel:+81-6-6210-9401 Fax:+81-6-6210-9337

Copyright (C) Kansai Promotion Council for the 2019 G20 Osaka Summit
All Rights Reserved.

韓国・朝鮮語トップページ(スマートフォン)



② コンテンツ分類（カテゴリー）

ア. 協議会情報

当協議会会長挨拶、G20サミットの概要、開催意義や関係機関へのリンク集等を掲載した。

イ. 開催支援情報

宿泊予約センターに関する情報、G20大阪学生通訳ボランティアに関する情報、寄附・協賛募集に関する情報、当協議会が主催したイベントや他のイベントへの参加に関する情報を掲載した。

ウ. 規制情報全般

サミットの開催に伴い、大阪府警察から発信される交通規制をはじめとした各種規制情報や主な集客施設・バス等・宅配便業者の対応状況、住民・事業者説明会の開催に関する情報を掲載した。

エ. 大阪・関西の魅力発信

大阪・関西の魅力発信（「歴史と文化にあふれた大阪・関西」、「充実した都市機能を有する大阪・関西」、「世界に貢献するまち大阪・関西」、「安全・安心なまち大阪・関西」の4つの観点から記載）、大阪・関西から集めた地元産品や観光資源等の情報、当協議会が開催したプレスツアーに関する情報に加えて、大阪・関西魅力発信スペースやプレスキットに関する情報を掲載した。

オ. プレスリリース

当協議会が大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ及び大阪経済記者クラブを通じて発信するプレスリリースを掲載した。

カ. 入札・契約情報

当協議会が実施する一般競争入札や企画提案公募（公募型プロポーザル方式）による事業者募集に関する情報を掲載した。

③ 公式ホームページへのアクセス数

年月	セッション数	ページビュー数	ユーザー数
2018年6月	456	2,791	319
2018年7月	2,473	10,741	1,611
2018年8月	2,410	9,942	1,601
2018年9月	2,731	9,985	1,716
2018年10月	3,822	14,097	2,351
2018年11月	5,232	16,217	3,635
2018年12月	6,306	18,623	4,599
2019年1月	19,150	54,299	14,717
2019年2月	36,100	97,249	29,822
2019年3月	60,201	147,351	50,801
2019年4月	155,694	286,026	137,244
2019年5月	501,820	816,236	443,003
2019年6月	1,174,094	1,715,084	1,025,832
累計	1,970,489	3,198,641	1,717,251

（参考）2019年6月における言語別ページビュー数及び国・地域別ユーザー数

言語	ページビュー数
日本語	1,403,966
中国語（簡体字）	206,286
英語	55,252
中国語（繁体字）	30,327
韓国・朝鮮語	19,253

国・地域名	ユーザー数
日本	835,877
中国（台湾を除く）	130,432
台湾	11,040
アメリカ	10,050
韓国	8,170

(2) SNSによる情報発信

当協議会では、Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeのアカウントを取得し、2019年2月からSNSによる情報発信を行った。

特に、サミット開催期間中は、公式ホームページのトップページへTwitter、Facebookページのタイムラインを埋め込むとともに、政府が運営するG20公式アカウントの情報をリツイート・シェアする等、タイムリーな情報発信を行った。

① 各SNSの表示イメージ等

ア. Twitter

アカウント:@2019G20Osaka
 (https://twitter.com/2019G20Osaka/)



エ. YouTube

チャンネル:2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会
 (https://www.youtube.com/c/2019g20osaka)



イ. Facebookページ

ユーザーネーム:@2019G20Osaka
 (https://www.facebook.com/2019G20Osaka/)



ウ. Instagram

アカウント:@2019g20osaka
 (https://www.instagram.com/2019g20osaka/)



4. シティドレッシング、広報ツール・グッズによる情報発信

(1) シティドレッシング

G20大阪サミットの開催の周知やおもてなし機運を醸成するため、行政施設や幹線道路、集客施設等への装飾を実施した。また、各国首脳やメディアなど、来阪する方々へ歓迎の意を示すため、宿泊ホテルや空港、サミット会場周辺等の装飾を実施した。

① 第1弾シティドレッシング

2019年1月から府・市の本庁舎やATCにおいて、懸垂幕・横断幕、吊下げバナー、バルーンモニュメントを掲出・設置した。

ア. 懸垂幕・横断幕

大阪府本庁舎・別館、大阪市役所、住之江区役所



大阪府庁舎懸垂幕

イ. 吊下げバナー、バルーンモニュメント

大阪市役所、ATC



大阪市役所吊下げバナー



大阪市役所バルーンモニュメント

② 第2弾シティドレッシング

2019年4月下旬から順次、市内中心部(繁華街)、大阪城公園や首脳等宿泊ホテル周辺において、バナーフラッグを掲出するとともに、関西国際空港等において空港装飾を実施した。また、サミット会場であるインテックス大阪周辺において、街灯柱巻きサインの設置や横断幕の掲出を行った。

ア. バナーフラッグ

御堂筋、中之島通、四つ橋筋、帝国ホテル周辺(天満)、シェラトン都ホテル周辺(上本町)、マリオット都ホテル周辺(天王寺)、ホテルニューオータニ周辺(大阪ビジネスパーク)、ザ・リッツカールトン大阪・JR大阪駅北側・グランフロント大阪周辺(梅田)、大阪城大手門周辺



御堂筋バナーフラッグ



マリオット都ホテル周辺バナーフラッグ

イ. 空港装飾

- ・関西国際空港 第1ターミナル 国際線入国審査場への横断幕の掲出
- ・関西国際空港 第2ターミナル 国際線出口・バス乗場へのバナーフラッグの掲出
- ・大阪国際空港 2階到着口への横断幕の掲出
- ・神戸空港 2階出発ロビーへの横断幕の掲出



関西空港入国審査場横断幕

ウ. サミット会場周辺装飾

- ・インテックス大阪周辺への街灯柱巻きサインの設置
- ・連絡橋(ATC~大阪府咲洲庁舎、大阪府咲洲庁舎~ハイアットリージェンシー大阪)への横断幕の掲出



インテックス大阪周辺柱巻きサイン

③ 広報ツール・広報グッズ

ア. カウントダウンボード

サミットまでの残日数を示すことで開催周知の徹底を図るとともに、期待感を高めることで歓迎機運の醸成を図るため、大阪市役所、住之江区役所、Osaka Metro主要駅(梅田・なんば・天王寺)にカウントダウンボードを設置した。

サミット開催まで100日前となる2019年3月20日には、大阪市役所でカウントダウンボードの除幕式を実施し、大阪でのサミット開催を広く

発信するとともに、歓迎機運を盛り上げた。



カウントダウンボード(大阪市役所)



カウントダウンボード(なんば駅)

イ. のぼり旗

サミットの開催周知、歓迎機運の醸成を図るため、のぼり旗を府・市庁舎や大阪府内各市区町村の行政関係施設、大阪商工会議所等の経済団体の施設やJR及びOsaka Metro主要各駅等に配布・設置した。



のぼり(大阪府庁舎)



のぼり(JR大阪駅)

ウ. ピンバッジ

各国首脳やメディアなど、来阪される皆さまを、最高のおもてなしによりお迎えするため、外務省製作のG20ピンバッジに加え、当協議会独自で「OSAKA SUMMIT」入りのG20ピンバッジを5,000個製作し、サミットの運営に関わる方々に配布することで、意識の高揚を図った。



エ. 広報グッズ

住民・事業者の皆さまに対して広くサミットの開催を周知するとともに、安全・安心な会議環境の確保に向けて、交通総量抑制等へのご協力をお願いするため、広報グッズを作成し、各種イベント等において配布した。

・クリアファイル

(第1弾:1,000枚、第2弾:10,000枚)



第1弾クリアファイル



第2弾クリアファイル

・ボールペン(第1弾:500本、第2弾:7,000本)



第1弾ボールペン



第2弾ボールペン

・メモ帳(5,000冊)



メモ帳(表面)



メモ帳(中面)

・マグネットシート(60,000枚)



- 缶バッジ(32,000個)



- ポケットティッシュ
(第1弾:10,000個、第2弾:170,000個)



第1弾ポケットティッシュ



第2弾ポケットティッシュ

- ウェットティッシュ(4,000個)



ウェットティッシュふた

- ステッカー(咲洲子どもフェスタ用:600枚、
B3横:20,000枚、A3横:10,000枚、
A6丸:40,000枚)



ステッカー(咲洲子どもフェスタ用)



ステッカー(B3横及びA3横)



ステッカー(A6丸)

5. インバウンド（訪日外国人旅行者）に向けた情報発信

国内への周知・PRとともに、インバウンドへの影響をできる限り緩和する観点から、インバウンド向けの情報発信や理解促進も重要な課題と考え、G20大阪サミット開催期間中も変わらず、海外から大阪・関西を訪れる旅行者の皆さまを歓迎することや、期間中の各種規制に注意いただくことについて、様々な方法で広報展開した。

(1) ネット媒体を利用した周知

海外に向けて「サミット開催情報」及び「サミット期間中の規制情報」を広範囲かつ効率的に発信する観点から、世界的に影響力が高いネット媒体を利用し、バナー広告やインフィード広告を配信し、当協議会ホームページへ誘引した。

① 活用媒体

旅行情報サイト系:トリップアドバイザー
プラットフォーム（検索サイト）系:Baidu(百度)、Facebook、GDN(Google Display Network)

② 配信対象

来阪外国人旅行者数の割合が高い国・地域の日本
関心層

アジア:中国、韓国、台湾、香港、タイ、
マレーシア、インドネシア、フィリピン、
シンガポール、ベトナム
欧米:アメリカ、オーストラリア、フランス、
カナダ、ドイツ、イギリス

③ 期間

2019年4月中旬から6月下旬まで



バナー広告(トリップアドバイザー)



バナー広告(百度)

(2) 関西国際空港における周知

サミット開催期間中に海外から大阪・関西を訪れる外国人旅行者が混乱しないよう、各種規制に伴う注意喚起を徹底するため、1日あたり約2万5千人のインバウンドが利用する関西国際空港における周知を強化した。

① 入国審査場への横断幕設置

サミットの開催周知や交通規制に関する注意喚起を掲載した大型横断幕を、2019年4月24日から6月末までの間、関西国際空港第1ターミナル国際線入国審査場の階段見附に2枚設置した。



② 「インバウンド向けG20情報提供ツール」
の作成

関西エアポート株式会社、関西国際空港全体構
想促進協議会と連携し、交通規制情報や観光情報、
防災情報等を一元化した情報提供カードを作成し、
大阪出入国在留管理局の協力も得て、関西国際空
港内で配布した。

ア. 内容

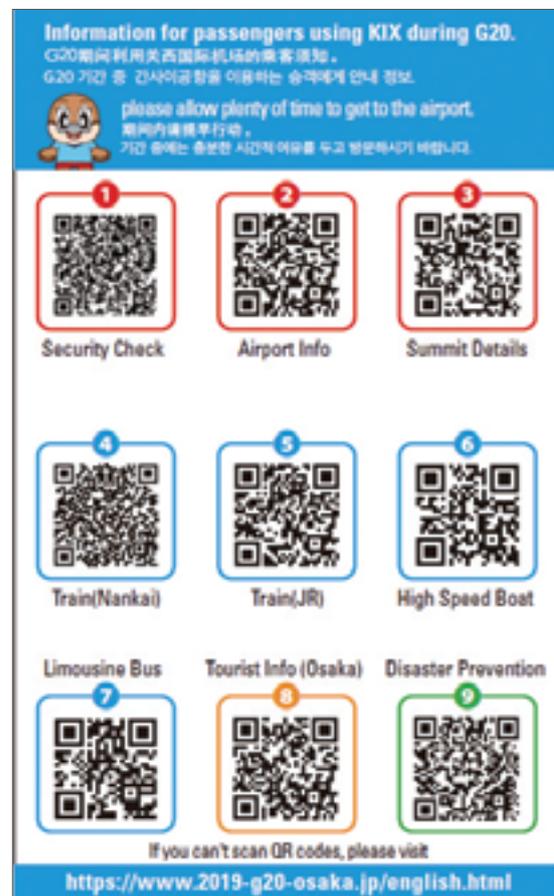
規制、アクセス、観光、防災情報等の関係機関の
URL (QRコード) を1枚にまとめた名刺サイズの
携帯カード(12万部)

イ. 期間

2019年6月22日から30日までの間、関西国際空
港や大阪観光案内所 (JR大阪駅中央改札口前) 等
で配架
(6月24日から6月28日までの間は、関西国際空
港国際線到着口等で配布活動を実施)



インバウンド向けG20情報提供カード(表面)



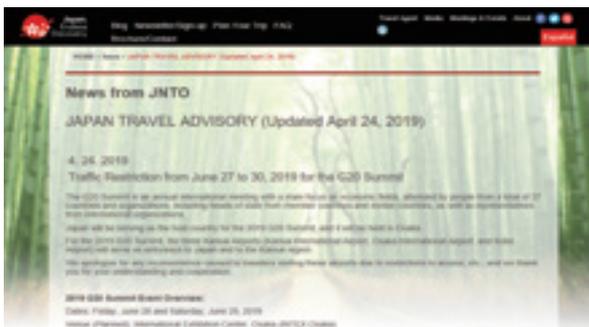
インバウンド向けG20情報提供カード(裏面)

(3) 大阪観光局と連携した周知

公益財団法人大阪観光局のホームページやSNSによる周知をはじめ、各種情報ネットワークを活用し、大手旅行会社や在京ランドオペレーター、大阪周遊パス海外エージェント、日本政府観光局(JNTO)に対し、サミットの開催や各種規制に伴う注意喚起について周知した。



大阪観光局Webサイト



JNTOWebサイト

6. イベントの企画・開催

住民・事業者の皆さまに、外交の世界やG20大阪サミットの開催意義についてご理解いただくとともに、安全・安心な会議開催環境の確保や最高のおもてなしに向けてご協力をお願いするため、各種イベントの企画・開催を行った。

(1) 開催1年前キックオフフォーラム

サミットの開催1年前となる2018年6月28日に、大阪府咲洲庁舎2階の咲洲ホールにおいて、キックオフフォーラムを開催した。約250人が参

加し、講演者からは、外交の世界や大阪人の特色について解説があった。



① 内容

ア. あいさつ

松井会長(役職は当時のもの)

イ. 講演

岡村 善文氏(国際平和貢献担当日本政府代表、2025年国際博覧会誘致特使)

「大阪人やからこそやれるで」



ウ. 事務局からの説明

吉田当協議会事務局長

「G20大阪サミットに向けた取組みの現状と皆さまへのご理解・ご協力をお願い」

エ. おわりに

吉村会長代行(役職は当時のもの)

(2) G20大阪サミットフォーラム ～G20サミットが拓く大阪の未来～

サミットの開催約150日前となる節目として、2019年2月4日に「G20大阪サミットフォーラム～G20サミットが拓く大阪の未来～」を開催した。

大阪商工会議所の国際会議ホールにおいて公益財団法人大阪観光局とともに開催し、フォーラムには約500人が参加した。講演者・パネリストに、外交の世界やサミットの開催意義について様々な観点からお話いただき、サミットを契機に国際都市としてさらに成長する大阪の未来について、一緒に考える機会となった。



記念写真

① 内容

ア. あいさつ

吉村会長代行(役職は当時のもの)

イ. 基調講演

藪中 三十二氏(立命館大学 客員教授、元外務事務次官)

「私たちのくらしと外交」



ウ. 講演

富田 浩司氏(外務省特命全権大使 [G20担当])
「G20におけるこれまでの議論と大阪に向けた展望」



エ. パネルディスカッション

テーマ1

「G20大阪サミット開催への期待と効果」

テーマ2

「国際都市大阪のさらなる成長・発展にむけて」

・パネリスト

藪中 三十二氏

武内 紀子氏(株式会社コングレ 代表取締役社長)

塩田 悠人氏(WAKAZO執行代表、大阪大学大学院生命機能研究科)

西川 きよし氏(吉本興業)

・コーディネーター

田中 淳子氏(NHK国際企画部長、元ワシントン支局長)



パネルディスカッション

オ. あいさつ

松井会長(役職は当時のもの)

(3) カウントダウンボード除幕式

サミット開催100日前となる節目として、2019年3月20日に大阪市役所 1階正面玄関ホールにおいて、カウントダウンボード除幕式を開催した。

大阪観光シンボルキャラクターである、関ジャニ∞の村上信五さん、横山裕さんによるトークセッションもあわせて実施した。イベントはTVやネットニュースなど、多数のメディアで取り上げられ、幅広い層に対する周知に繋がった。



カウントダウンボード除幕式

① 内容 (10時30分～11時15分)

ア. あいさつ

田中 清剛氏(大阪市副市長)
赤堀 毅氏(外務省G20サミット事務局長)
吉田 真治氏(当協議会事務局長)
溝畑 宏氏(公益財団法人大阪観光局理事長)

イ. カウントダウンボード除幕式

村上 信五さん、横山 裕さん(関ジャニ∞)とのトークセッション

(4) G20大阪サミットクリーンUP作戦

サミット開催まであと1カ月という節目をとらえ、各国首脳をはじめ、大阪を訪れる方々を歓迎し、美しいまちでお迎えしようとの趣旨で、「クリーンUP作戦」を実施した。

SDGs先進都市をめざす大阪府と大阪市が行った「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に基づく取組みの一環として、この活動を市域・府域に展開し、国際社会に貢献する都市大阪を世界にアピールする機会とした。

① 咲洲キックオフイベント

咲洲地区の住民・事業者の皆さまご協力のもと、サミット会場周辺の清掃活動を通じ、各国首脳の皆さまを歓迎するとともに、サミットに向けた機運醸成を図るため、2019年5月28日にインテックス大阪のインテックスプラザにおいて、キックオフイベントを開催した。

予定していた清掃活動は、雨天により翌日に順延となったが、延べ約450人が参加し、地元から「おもてなしの意」や「きれいな大阪」を発信する機会となった。

ア. 内容

- ・あいさつ
吉村会長、松井会長代行
赤堀 毅氏(外務省G20サミット事務局長)
- ・歓迎メッセージ
茂野 洸気さん
(NTTドコモレッドハリケーンズ キャプテン)
大阪市立南港桜小学校、南港光小学校の6年生代表
間 寛平さん(吉本興業)
- ・ウェルカムボード制作
- ・「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」の取組み紹介



記念写真



清掃活動



登壇者



清掃活動



ウェルカムボード制作



清掃活動

② 大阪市における展開

大阪市では、2011年度から「大阪マラソン」とタイアップしたクリーンUP作戦を毎年実施しているが、日本初開催となるG20サミットが大阪で開催されることをふまえ、2019年5月24日から6月6日までの14日間において「G20大阪サミットクリーンUP作戦」を展開した。

この活動には、約900団体・約40,000人が参加することとなり、多くの住民・事業者の皆さまと相互のパートナーシップを図りながら美しいまちづくりに取り組んだ。

③ 大阪府域における展開

サミット開催に合わせ、2019年5月から6月下旬までを重点期間に設定し、大阪府各部局の施策と連携の上、「おおさか海ごみ・プラごみゼロ作戦」を実施した。10カ所以上の地域で、既存の清掃・美化活動をサミットの啓発と連携して実施するかたちでクリーンUP作戦を展開した。取組例は次のとおりである。

大川かたづけ隊活動(毛馬桜ノ宮公園)
 桜ノ宮ビーチフェスティバル2019(大阪ふれあいの水辺)
 港湾美化活動(堺泉北港泉大津地区)
 大阪湾クリーン作戦(堺泉北港護岸等)
 港湾美化啓発活動(岸和田市浜工業公園)
 狭山池クリーンアクション
 内水面クリーンアップ事業(水無瀬川)
 十丁瀬水路植栽活動(茨木市)
 幹線用水路植栽活動(高槻市)
 漁港区域清掃事業(堺出島漁港)
 漁港区域清掃事業(石津漁港)
 漁港区域清掃事業(高石漁港)
 クリーンアップりんくう(りんくうタウン)

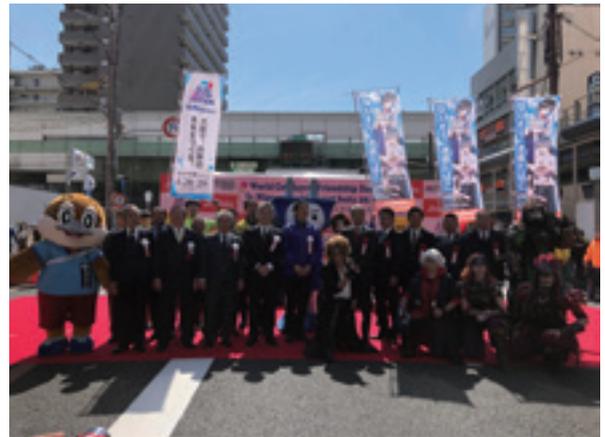
(5) 各種イベントでのPR

当協議会では、サミットの認知度向上や開催機運の盛上げを図るため、各種イベントに参加し、地域や企業など、各関係先にも協力いただきながら、PR・プロモーションを実施した。各イベントでは、ポスターの掲示、のぼりの設置、ノベルティの配布等を実施し、サミット開催周知や協力の呼びかけを行った。

また、大阪市では、市内24区で開催している区民まつりにおいても、ポスター掲示やチラシの設置、ティッシュの配布を行うなど、地元住民へのサミット開催周知に努めた。



咲洲子どもフェスタ



日本橋ストリートフェスタ2019



日本橋筋商店街におけるG20大阪サミットの啓発活動



日本橋筋商店街におけるG20大阪サミットの啓発活動

各種イベントへの参加一覧

実施日	イベント名	主催	内容
2018年7月15日	住之江まつり	大阪市住之江区	・ブースの出展 ・広報グッズの配布
2018年9月20日 2018年9月21日	ツーリズムEXPOジャパン2018	公益社団法人日本観光振興協会、 日本政府観光局等	・英語リーフレットの配布等
2018年10月4日	2018関西インターナショナル 名刺交換会	大阪商工会議所	・ブースの出展
2018年10月7日	港区民まつり	大阪市港区	・ブースの出展 ・広報グッズの配布
2018年10月20日	水都大阪フェス2018	水都大阪コンソーシアム	・広報グッズの配布
2018年10月27日	大阪文化芸術フェス2018	大阪府	・広報グッズの配布
2018年11月3日 2018年11月4日	咲洲子どもフェスタ2018	咲洲子どもフェスタ 実行委員会	・ブースの出展 ・広報グッズの配布
2018年11月11日	すみのえアートビート2018	すみのえアートビート 実行委員会	・広報グッズの配布
2018年11月23日 2018年11月24日	大阪マラソンEXPO2018	大阪マラソン組織委員会	・ブースの出展 ・広報グッズの配布
2018年12月6日	大阪MICEデスティネーション・ ショーケース	公益財団法人大阪観光局	・ブースの出展 ・パネルディスカッション
2019年1月4日	平成31年大阪新年互例会	府・市・大阪商工会議所等	・ブースの出展
2019年2月27日	関西インバウンド交流会	一般財団法人関西観光本部等	・ブースの出展
2019年3月9日	日本橋ストリートフェスタ2019	日本橋ストリートフェスタ 実行委員会	・パレードへの出演 ・広報グッズの配布
2019年4月22日	日本橋筋商店街におけるG20大阪 サミットの啓発活動	日本橋安全まちづくり協議会、 永和信用金庫	・街頭啓発活動での広報グッズの配布 ・パレードへの出演

7. サミット開催を契機とした国際理解促進

G20大阪サミット開催を契機に、国際政治のダイナミックな動きを間近に感じていただく機会を設け、住民・事業者の皆さまに国際理解を深めていただくとともに、サミット開催に向けた歓迎機運を醸成すること、とりわけ未来を担うこどもたちに、国際的な視野や感覚を身につけるきっかけとなることを目的に、次の事業を実施した。

(1) サミット講座「G20サミットについて学ぼう!」(大阪市)

サミットの開催に関する地元住民に対する理解促進の一環として、サミット講座「G20サミットについて学ぼう!」を2018年12月から2019年5月までの間、サミット会場がある大阪市住之江区内の市立小学校及び中学校において開催した。

本講座は、大阪市と外務省の共催により開催し、次世代を担うこどもたちに、世界のこどもを取り巻く状況、国際問題等を通じて、外交についての関心を高めていただき、サミットの開催意義を学び議論を深めるものとして、授業時間を活用して開催した。

外務省職員が、サミットで議論される話題や外交官の仕事等について、自らの経験談を交えながらわかりやすく解説し、最後に、大阪市職員がサミットを大阪で開催する意義等について説明した。

期間中、15回実施し約1,300人の児童・生徒が受講した。



南港南中学校でのサミット講座
(吉村大阪市長 [役職は当時のもの])



南港南中学校でのサミット講座
(原田外務省G20サミット事務局次長)

実施校一覧

開催日	学校	学年	人数
2018年12月10日	南港みなみ小学校	6年生	53
2018年12月10日	南港南中学校	1年生	49
2018年12月14日	加賀屋中学校	3年生	120
2018年12月21日	加賀屋小学校	5、6年生	114
2019年1月17日	住吉第一中学校	1年生	119
2019年1月18日	安立小学校	5年生	96
2019年1月23日	真住中学校	2年生	155
2019年1月28日	南港桜小学校	4年生	98
2019年1月29日	新北島中学校	3年生	160
2019年2月6日	南港北中学校	2年生	41
2019年2月7日	南港光小学校	5年生	48
2019年2月19日	平林小学校	6年生	44
2019年2月20日	粉浜小学校	5年生	67
2019年3月7日	住吉川小学校	6年生	80
2019年5月8日	平林小学校	6年生	32

(2) こども向け理解促進ツールの制作

サミットの開催地である大阪のこどもたちに、国際政治を身近なものに感じ、理解を深めるとともに、グローバルな視野を育んでもらうため、開催意義や参加各国の概要等を記載したこども向け理解促進ツールを制作した。

新聞社との連携による20ページのタブロイド紙面を発行し、府内の小・中・支援学校の児童・生徒に配布するとともに、紙面内容と連動したDVD(音声付動画)を、小・中・支援学校に加えて高等学校にも配布した。

なお、動画については、大阪府教育厅と連携の上、こどもの成長段階にあわせて、小学校低学年用、高学年用、中高生用の3パターンを作成するとともに、当協議会ホームページでも公開し、学校現場での活用はもちろんのこと、各家庭でも視聴できるように環境を整えた。



タブロイド紙面(読売新聞社発行)



DVD(協議会制作)

① 内容

タブロイド紙面(20ページ)
DVD(音声付動画・5分程度)

② 対象

大阪府内の小・中・支援学校の児童・生徒(約74万部)
大阪府内の小・中・高等学校・支援学校(約1,800校)

③ 時期

2019年5月24日配布開始

④ 協力

読売新聞社、大阪府教育厅

8. 関係先との連携による広報展開

当協議会では、上記の広報展開のほか、府・市、府内市町村、関西広域連合の構成府県が有する広報媒体を通じた広報や、企業との連携により、様々な広報を展開した。

(1) 広報紙、地域振興会等を通じた地域への浸透

サミットの開催に関する地元住民に対する理解促進の一環として、大阪府が発行する「府政だより」や大阪市の各区が発行する「区広報紙」のほか、府内市町村が発行する広報紙や関西広域連合の構成府県が発行する広報紙において、サミットの開催周知、理解促進及び協力要請を実施した。

また、大阪市内の各区地域振興会を通じて、町内会等において、ポスター(A3ポスター約7,000枚)の掲出やリーフレット(A4リーフレット約8

万8,000枚)の回覧に協力いただいた。また、大阪市内の商店街では、大阪市商店会総連盟を通じて、ポスターの掲出に協力いただくなど、地元への開催周知及び理解促進に努めた。

(2) 大阪府公民戦略連携デスク等との連携

大阪府では、企業・大学のワンストップ窓口として相談等を聞き適切に府庁内の各担当セクションにつなぐ機能と、庁内からの提案を企業・大学と調整する機能を兼ね備えた「公民戦略連携デスク」を有している。また、府・市において民間企業との協働による社会課題の解決を図るため、包括連携協定を締結している。

これらの枠組みを活用し、サミットの開催に関する地元住民・事業者に対する理解促進の一環として、企業における広報展開での連携を実施した(連携内容は資料編15に含めている)。

9. サミット開催後の情報発信

(1) サミット会場の一般公開(大阪市)

サミットの開催にご理解、ご協力いただき、サミットの開催を支えていただいた大阪市民や未来を担うこどもたちに、国際政治のダイナミックな動きを間近に感じていただく機会を提供するため、サミット終了後の2019年7月2日及び3日の2日間、インテックス大阪の協力を得て、外務省と大阪市により本会議場等を一般公開した。

一般公開の参加者の募集は、大阪市内在住・在勤・在学の方を対象として、2019年5月30日から6月14日までの間実施した。その結果、応募件数で964件、累計人数2,235人(応募1件あたり最多で4名まで申込み可)となり、応募者が多数であったため、抽選を行った。

その他、住之江区内の小・中学生やインテックス大阪催事関係者をあわせて、2日間で1,728人が参加した。参加者には、IDとして缶バッジを配付するとともに、記念品として外務省から提供

を受けたクリアファイルやボールペン等のグッズをお土産として配付した。

① 実施日時

2019年7月2日及び3日

各日とも9時から21時までの間を10回に分けて実施(1回あたり1時間程度)

② 公開施設

本会議場、エントランス、首脳側近控室

③ 公開対象者

大阪市住之江区内小・中学生、市内在住・在勤・在学者、インテックス大阪催事関係者等

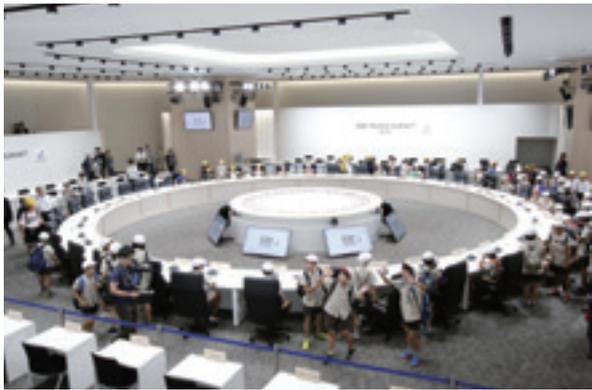
④ 参加人数

1,728人

内訳	人数
大阪市住之江区小中学生 (サミット講座の受講生が中心)	864名
市内在住・在勤・在学一般公募	653名
インテックス大阪催事関係者等	211名

⑤ 公開方法等

- ・開催当日は公開エリア以外において会場の撤去作業を行っていたため、参加者の安全を確保する観点から、インテックス大阪に近接する商業施設であるアジア太平洋トレードセンター(ATC)を集合(受付)場所とし、バスにより会場まで移動し入場した。
- ・「首脳側近控室」でサミットの概要説明(3分程度の映像を放映)を行った後、「本会議場」と「エントランス」を自由見学とした。
- ・それぞれの公開場所では、誘導、説明、写真撮影を補助する係員を配置し、参加者の見学をサポートした。
- ・見学後、バスで受付場所まで移動し、お土産を配付した。



本会議場の見学風景



エントランスの見学風景



お土産

(2) サミットの本会議場で使用されたテーブルと椅子の一部の展示

大阪において開催された世界最高峰の国際会議を住民の皆さまに体感していただくため、サミットの本会議場において、各国首脳が実際に使用したテーブルと椅子の一部を大阪市役所本庁舎等に展示した。

また、展示の際にサミットの開催準備や開催中の様子を紹介する映像や写真パネルを掲出した。

なお、大阪府立中央図書館、住之江区役所、アジア太平洋トレードセンター(ATC)においても同様に、テーブルと椅子の一部の展示を行った。



展示の様子(大阪市役所本庁舎)

(3) サミット記録写真の展示

サミットの公式行事である配偶者プログラムを実施した大阪府庁本館の1階中央階段付近において、2019年8月9日から10月31日まで(府庁開館日)の間、サミットの記録写真を展示した。



写真展の様子(大阪府庁本館)

第5章 住民・事業者への説明

1. 地元住民・事業者への情報提供等

G20大阪サミットの主会場であるインテックス大阪が立地する咲洲地区は、約2万5,000人の住民が居住しているほか、約800の事業者が所在している。さらに港湾物流の重要な拠点であり、多くの港湾関連事業者が経済活動を営んでいる地域である。

このため、サミット開催に伴う警戒警備や交通規制・海上規制が住民・事業者に与える影響は大きく、十分な理解と協力を求める必要があった。また、住民・事業者からも具体的な規制情報を速やかに提供するよう要望があった。

当協議会としては、国等に速やかな情報提供を働きかけるとともに、住民・事業者へ可能な限り速やかな情報提供に努める方針のもと、港湾関係団体への訪問説明を行うとともに、住民・事業者説明会、港湾関係事業者向け説明会を開催した。

また、インテックス大阪の南側に隣接する駐車場は、警戒警備上極めて重要な場所に位置していることから、利用者の負担軽減を図るため代替となる駐車場を用意した上で、駐車場利用者向けに別途説明会を開催するなど、代替駐車場の利用を促した。

(1) 住民・事業者説明会

当協議会では、地元住民や事業者への情報提供を行い、サミット開催に伴う影響について理解と協力を求めるため、関係機関と連携しながら住民・事業者説明会を開催した。2019年1月から2019年6月までの間で、第1回から第3回まで計14回開催し、延べ3,485名の参加があった。

主催:当協議会

共催:大阪府警察、外務省、保健医療対策PT、防災・危機管理PT、大阪市港湾局、大阪市環境局

① 第1回住民・事業者説明会

- ・2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会の取組みについて(当協議会)
- ・国民保護共同実動訓練について(防災・危機管理PT)
- ・交通規制、警戒警備等について(大阪府警察)

② 第2回住民・事業者説明会

- ・交通規制、警戒警備等について(大阪府警察)
- ・インテックス大阪周辺の安全対策について(外務省)
- ・会場周辺及びアクセス道路等の補修・整備等について(大阪市港湾局)
- ・警備強化に伴う周辺住民・事業者の負担軽減策について(当協議会)

③ 第3回住民・事業者説明会

- ・交通規制、警戒警備等について(大阪府警察)
- ・インテックス大阪周辺の安全対策について(外務省)
- ・サミット開催に向けた咲洲内道路工事・除草・清掃区域について(大阪市港湾局)
- ・警備強化に伴う周辺住民・事業者の負担軽減策について(当協議会)
- ・咲洲内の医療機関の開院状況について(保健医療対策PT)
- ・大阪市内のごみ収集の変更について(大阪市環境局)

住民・事業者説明会への参加人数一覧

【第1回住民・事業者説明会】

日付	時間	場所	人数	内住民	内事業者	内報道
2019年1月16日(水)	19:00～	ポートタウン西ビル大会議室	140名	121	4	15
2019年1月17日(木)	11:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	140名	105	35	0
2019年1月19日(土)	11:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	80名	68	6	6
2019年1月26日(土)	19:00～	ポートタウン西ビル大会議室	130名	128	1	1
計			490名	422	46	22

【第2回住民・事業者説明会】

日付	時間	場所	人数	内住民	内事業者	内報道
2019年3月29日(金)	11:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	400名	45	350	5
	19:00～	ポートタウン西ビル大会議室	210名	159	51	0
2019年3月30日(土)	11:00～	ポートタウン西ビル大会議室	210名	168	41	1
	14:30～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	100名	76	24	0
計			920名	448	466	6

【第3回住民・事業者説明会】

日付	時間	場所	人数	内住民	内事業者	内報道
2019年5月28日(火)	10:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	600名	170	419	11
	19:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	250名	181	64	5
2019年6月2日(日)	14:30～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	300名	290	9	1
	19:00～	ポートタウン西ビル大会議室	370名	364	5	1
2019年6月3日(月)	14:30～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	280名	99	181	0
	19:00～	ポートタウン西ビル大会議室	275名	246	28	1
計			2,075名	1,350	706	19



説明会の開催風景(咲洲ホール)



説明会の開催風景(ポートタウン西ビル)

(2) 港湾関係団体への説明

大阪港並びに咲洲地区は、コンテナターミナル、フェリーターミナルをはじめ、様々な物流関連機能が集積していることから、交通規制や警戒警備の影響を大きく受けることが予想されるため、港運業者・港運関連事業者で構成される団体に対しては、大阪府警察、海上保安庁第五管区海上保安本部、大阪市港湾局とともに、丁寧な説明を重ね、ご理解・ご協力を求めた。主な対応は次のとおりである。

- ・大阪港運協会、大阪府トラック協会等への説明
- ・大阪港戦略港湾連絡会(大阪港運協会、大阪港湾労働組合協議会、全日本港湾運輸労働組合同盟出席)での説明
- ・大阪港湾労働組合協議会と大阪市副市長との意見交換会

(3) 港湾関係事業者向け説明会

関係機関と連携しながら、港湾関係事業者への

情報提供を行い、サミット開催に伴う影響について理解と協力を求めるため、港湾関係事業者向け説明会を開催した。

港湾関係事業者向け説明会は、大阪港運協会の会員並びに、大阪市港湾局から情報提供のあった事業活動への影響がある団体等、計279社に案内を発出した。第2回以降は、未案内であった前回参加者も加えて案内を行い、2018年12月から2019年6月までの間で、第1回から第3回まで計6回開催し、延べ796社、1,166名の参加があった。

主催:当協議会、大阪市港湾局

共催:大阪府警察、外務省、海上保安庁第五管区海上保安本部、大阪税関

① 第1回港湾関係事業者向け説明会

- ・2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会の取組みについて(当協議会)
- ・交通規制、警戒警備について(大阪府警察)
- ・海上警備への協力について(海上保安庁第五管区海上保安本部)
- ・サミットに向けた環境整備について(平成30年度補正予算)(大阪市港湾局)

② 第2回港湾関係事業者向け説明会

- ・交通規制、警戒警備等について(大阪府警察)
- ・インテックス大阪周辺の安全対策について(外務省)
- ・海上警備への協力について(海上保安庁第五管区海上保安本部)
- ・税関検査への協力について(大阪税関)
- ・会場周辺及びアクセス道路等の補修・整備等及び物流対策について(大阪市港湾局)

③ 第3回港湾関係事業者向け説明会

- ・交通規制、警戒警備等について(大阪府警察)
- ・インテックス大阪周辺の安全対策について(外務省)
- ・海上警備、航行自粛、事前通報への協力について(海上保安庁第五管区海上保安本部)

- ・サミット開催に向けた環境整備について(大阪市港湾局)

港湾関係事業者向け説明会への参加人数一覧

【第1回港湾関係事業者向け説明会】

日付	時間	場所	社数	人数
2018年12月18日(火)	14:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	122社	178名
2018年12月19日(水)	10:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	73社	103名
計			195社	281名

【第2回港湾関係事業者向け説明会】

日付	時間	場所	社数	人数
2019年3月28日(木)	11:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	143社	211名
2019年3月29日(金)	14:30～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	152社	212名
計			295社	423名

【第3回港湾関係事業者向け説明会】

日付	時間	場所	社数	人数
2019年5月28日(火)	14:30～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	202社	318名
2019年6月3日(月)	11:00～	大阪府咲洲庁舎2階咲洲ホール	104社	144名
計			306社	462名



説明会の開催風景

(4) インテックス大阪隣接の駐車場対策

インテックス大阪の南側に隣接する南港ポートタウン北1及び北2駐車場は、サミット開催に伴い、厳格な警戒警備体制が敷かれるエリアに位置している。

通行時の警官による声かけや入出庫時の車両検査等で相当な時間を要すること、また2019年6月27日から6月29日まで、駐車場の前面道路が通行止めとなり、車の入出庫ができなくなることから、利用者にご不便をおかけすることが予想されたため、同駐車場利用者の負担軽減策として、代替駐車場を確保した。概要は次のとおりである。

- ・インテックス大阪中ふ頭駐車場を2019年6月22日8時から7月1日20時まで代替駐車場として確保(対象:約680台 期間中は24時間体制で運用)。
- ・駐車場利用者への代替駐車場利用に関する説明会の開催(2019年5月10日と11日で3回開催(計127名参加))。
- ・代替駐車場利用説明書及び代替駐車場利用証を送付(6月上旬)。
- ・2019年6月27日時点で350台が利用。

大阪府警察とも連携のうえ対応した結果、代替駐車場利用による大きな混乱もなく、駐車場利用者に対して、警戒警備に伴う負担軽減を図ることができた。



駐車場位置図



代替駐車場利用証

(5) 住民・事業者からの主な意見等

上記(1)～(4)を通じて寄せられた住民・事業者からの主な意見等は次のとおりであった。

- ・規制の内容はいつわかるのか。早く教えてもらいたい。
- ・日常の買い物等に支障がないようにしてもらいたい。
- ・安全確保のため警備を強化してもらいたい。
- ・用意された代替駐車場が普段使用している駐車場よりも遠くて不便。
- ・人工透析が必要なため、通院に支障が出ないよう医療体制を整えてほしい。
- ・日雇いで勤務しており、物流の停滞により勤め先が休業となったり、雇い止めとなったりした場合に困る。
- ・交通規制等の影響で、大阪市内へ商品の配送ができないと損害が出る。
- ・飲食店を休業した場合の損失について補償してもらいたい。等

(6) サミット開催期間中の問合せ対応

2019年6月24日から6月30日までの間、24時間体制で住民・事業者からの問合せへの対応体制を取り、478件の問合せがあった。

交通規制に関する問合せが全体の約7割を占めており、次のような問合せが多く寄せられた。また、交通規制以外には、確認カードや警戒警備等に関する問合せがあった。

- ・現在、どこで規制や警戒が行われているのか。
- ・いまから関西国際空港を利用するが、空港への連絡橋は通行できるのか。
- ・大阪市内の規制エリア内を徒歩又は自転車で通行することは可能か。 等

問合せ対応件数

項目	件数
交通規制	325
警戒警備	31
公共交通	19
確認カード	43
代替駐車場	23
その他	37
計	478

(7) サミット開催を通じて生じた課題・懸案等

住民・事業者の意見等をふまえ、サミット開催に伴う警備や規制について調整を行ううえで、次の課題や懸案があった。

① 認知度の低迷

2018年度当初における広報の取組みはサミットが開催される地元を中心としたため、サミットの認知度は低かった。この状況を改善するため、広報活動の強化及び多角化が求められた。

(参考)大阪府警察本部実施認知度アンケートの推移

サミット開催の認知度:約49%(2018年12月)⇒約88%(2019年5月)

② 情報提供に対する制約

安全・安心に係る情報については、警備上の機密にも関わるため、事前の詳細な情報提供に相当な制約があった。また、住民生活・経済活動の保持に配慮しつつ、警備上の必要性から要請される事項について頻繁かつ慎重な調整を要した。

③ 外国人旅行者への周知

サミット開催期間中に海外から大阪・関西を訪れる外国人旅行者が混乱しないよう、ネット媒体

を利用した周知、関西国際空港における周知及び大阪観光局と連携した周知により、インバウンドに向けた情報発信を実施した。しかし、サミット開催期間中の安全確保を目的として近畿圏主要駅のコインロッカー及びごみ箱の使用を停止したため、その情報を知らない外国人旅行者がスーツケース等の手荷物預り所を探す姿がみられたとの報道があった。

④ 公共交通機関の遅延等

サミット期間中の市民生活への影響を最小限にとどめるため、大阪市内(サミット会場のある咲洲以外)の路線バスは通常運行を予定していたが、首脳宿泊ホテル周辺等での通行止めが長期化した影響等により一部地域でダイヤが大きく乱れ、計画運休以外の274便を急遽運休する等の事態が生じたとの報道があった。

⑤ 流通の支障

交通規制等により、さまざまな業種に影響が生じたが、とりわけ物流業界において、影響が大きかった。期間中の配送休止や配送の前倒しなど、自主的に対応いただいた事業者が多くあった。青果業界の一部では、商品の鮮度が重要であり当日配送を行っているが、配送会社の配送休止等によりサミット開催期間中の大阪府内への配送ができない等の課題が生じた。

2. 関係団体・事業者等への説明

(1) 関係団体等への説明

当協議会事務局が設置された2018年4月から順次、G20大阪サミット開催に伴う各種規制により影響を受ける可能性のある事業者団体(府域総数約500団体)に対して、府・市の各関係部局を通じてサミットの開催意義や想定される規制等の内容について周知を行った。

その中でも、輸送関係や漁業関係等のとりわけ規制等の影響を大きく受ける可能性の高い31団体(大阪府所管12団体、大阪市所管19団体)につ

いては、府・市の各所管部局とともに訪問の上、個別に説明を行った。

2019年6月には、関西経済3団体(公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所及び一般社団法人関西経済同友会をいう。以下同じ。)に対し、会場となる咲洲や各国首脳等の宿泊先となるホテルの周辺等では、警備や交通規制により催事等の開催に支障をきたす場合もあるため、サミット開催前の一定期間において、株主総会等の催事の開催に配慮・協力をいただくよう依頼した。

また、関西広域連合や大阪府内市町村を通じて、大阪府域内外の関係団体へサミットの開催意義や想定される規制等の内容についての周知を図った。

(2) 交通総量抑制等の協力依頼

(交通総量抑制対策の詳細は「第6章 警備・消防・保健医療 2. 交通総量抑制対策」を参照)

2019年2月には、交通総量抑制連絡会においてサミット開催期間中における交通総量抑制の数値目標設定がなされたことを受け、関西経済3団体に対し交通総量50%削減の協力依頼文を発出した。また、府・市の関係部局や関西広域連合、大阪府内市町村を通じ、所管する関係団体等へ交通総量抑制についての協力依頼を行った。加えて、物流関係事業者やインターネット関連企業へも交通総量抑制についての協力依頼を行った。

2019年6月24日から6月29日までの間における近畿圏の主要な鉄道駅等のコインロッカー及びごみ箱の使用中止について関西経済3団体をはじめ、観光関係の機関等へ協力を依頼した。交通規制やコインロッカー等の使用中止に関し、特に大きな影響を受ける可能性のある団体・事業者については、個別の訪問や会合等を活用した説明を実施するなど、理解促進と協力依頼を行った。

(3) 経済団体等への依頼文書

(各依頼文書については、資料編17に収録)

① 2018年6月4日付け依頼文書

発出先:関西経済3団体

文書題名:G20大阪サミット開催時における各社催事について

依頼内容:サミット開催前の一定期間における株主総会等の催事の開催について配慮・協力を依頼するもの。

② 2019年2月22日付け依頼文書

発出先:関西経済3団体

文書題名:G20大阪サミット開催時における交通総量50%削減への協力要請について

依頼内容:期間中の交通総量を平日通常時の50%とする削減目標を達成するため、マイカー利用の自粛や公共交通機関の利用、業務用車両等の運行調整について協力を依頼するもの。

③ 2019年3月15日付け依頼文書

発出先:関西経済3団体

文書題名:G20大阪サミット開催時における公共交通機関混雑緩和への協力要請について

依頼内容:期間中の交通総量を平日通常時の50%とする削減目標を達成するため、各企業において可能な範囲で、テレワーク、出張日程調整、休暇勧奨等の取組みについて配慮・協力を依頼するもの。

④ 2019年4月2日付け依頼文書

発出先:関西経済3団体

文書題名:G20大阪サミット開催時における交通対策への協力要請について

依頼内容:警察庁より、交通総量抑制対策の対象期間及び地域等が示されたことを受け、その周知を図るとともに、交通総量抑制への協力を改めて依頼するもの。

⑤ 2019年4月25日付け依頼文書

発出先:関西経済3団体

文書題名:G20大阪サミット開催時における交

通対策への協力について

依頼内容:大阪府警察より、阪神高速通行止め規制の予定が示されたことを受け、規制対象路線等を周知するとともに、交通総量抑制対策への協力をさらに依頼するもの。

⑥ 2019年5月10日付け依頼文書

発出先:関西経済3団体、関西広域連合、大阪府内市町村、公益財団法人大阪観光局、一般社団法人関西観光本部、全国旅行業協会大阪府支部、一般社団法人大阪バス協会、一般社団法人大阪タクシー協会
文書題名:G20大阪サミット開催時におけるコインロッカー等の封鎖に関する協力依頼について

依頼内容:国土交通省近畿運輸局及び大阪府警察からの周知依頼を受け、6月24日から29日までの間における近畿圏の主要な鉄道駅等のコインロッカー及びごみ箱の使用中止について協力を依頼するもの。

⑦ 2019年5月21日付け依頼文書

発出先:関西経済3団体
文書題名:G20大阪サミット開催時における交通総量50%削減の取組みへの協力について

依頼内容:大阪府警察から、う回エリアの設定が示されたことを受け、大阪市内の一般道における交通規制等の周知を図るとともに、交通総量抑制への協力を重ねて依頼するもの。

(4) 団体・事業者による規制等への協力状況

「第6章 警備・消防・保健医療 3. 各種機関での対応」参照

(5) 咲洲地区事業者連絡会

交通規制等の影響によりご不便をおかけすることが予想された咲洲地区の事業者に対して、規制情報等をメールにより速やかにお伝えすることを目的に、「咲洲地区事業者連絡会」(以下、「連絡会」という。)を設置し、連絡体制の構築を図った。

2018年9月に、コスモスクエア開発協議会の会員を中心とした事業者42社を訪問し、連絡会設置の趣旨説明とメールアドレスの登録依頼を行った。それ以外の事業者については、同年10月に咲洲地区の事業者リストを作成のうえ、担当者が事業者を1社ずつ訪問し説明を行った。これにより所在確認ができた765社のうち、同意のあった332社について連絡会の登録を行った。

連絡会の登録事業者には、計3回にわたり開催した住民・事業者説明会の案内や、そこで説明した規制情報等をメールにより情報提供を行った。また、サミット開催直前期には、交通規制やドローン規制の情報についても配信を行った。

咲洲地区の事業者に対して、連絡会を活用して規制情報等を速やかにお伝えすることにより、サミット開催における地元の機運醸成を図るとともに、安全・安心な会議環境の確保に寄与することができた。

3. 「住民・事業者確認カード」及び「ホログラムシール」の発行

G20大阪サミットの開催にあたり、インテックス大阪周辺において警戒警備が強化され検問等が実施されることに伴い、その影響を受ける住民及び事業者の負担軽減対策として、「住民・事業者確認カード」及び「ホログラムシール」を発行し、検問時等における質問時間の短縮化を図った。



「住民・事業者確認カード」及び「ホログラムシール」のデザイン

(1) 発行条件等の調整

当初、咲洲地区すべての住民及び事業者に住民・事業者確認カードを発行する想定をしていた。しかし、経済界から、事業者がすでに発行している社員証を利用するなど、経費の削減を求める声があった。このことを受け、事業者については、既存の社員証にホログラムシールを貼付することとした。

また、大阪府警察から厳重な警戒警備が行われると提示された「南港北1丁目の一部」「南港中4丁目」「南港中5丁目」を「住民・事業者確認カード」及び「ホログラムシール」それぞれの発行対象エリアとして対象者を絞り込むとともに、住民については公的証明書を活用することで経費の削減と住民・事業者の利便性を図った。発行条件等は次のとおりとした。



住民・事業者確認カード、ホログラムシールの発行範囲

① 南港北1丁目の一部の事業者

「顔写真」「社名」「氏名」の3点が記載されている社員証をお持ちの方には、ホログラムシールを発行した。上記3点を満たさない社員証、もしくは社員証がない事業者の社員の方については、住民・事業者確認カードを発行した。

② 南港中4丁目・5丁目の住民、事業者

原則、住民・事業者確認カードを発行した。ただし、相愛大学の学生等、18歳以下の住民、配達・商談・送迎等を目的として発行対象エリア内を出入りする事業者等は発行対象外とした。

なお、ホログラムシールの有効性を確認するた

め、南港北1丁目の対象事業者全てに対し、社員証の保有状況や記載内容について事前ヒアリングを実施した。

(2) 事業者への事前ヒアリングと発行に係る事務手続き

社員証の発行状況を把握するため、南港北1丁目の対象事業者54社に対し、2019年2月下旬から3月上旬にかけて、ヒアリングを行った。

事前ヒアリングの結果、南港北1丁目の対象者11,847名のうち9,282名(約78%)が保有する社員証はホログラムシールの発行条件を満たしていた。このことから、住民・事業者確認カード及びホログラムシールの発行が、経費削減と負担軽減の観点から有効な手段であることを確認し、大阪府警察や経済界からの承認を得た。

これらを受け、2019年4月中旬から5月上旬にかけて、住民・事業者確認カード、ホログラムシールの発行に必要な発行者リストを提出いただくため再度、対象事業者を訪問し、発行方法について説明を行った。並行して、大阪府警察と住民・事業者確認カード、ホログラムシールのデザインや業務フローについても、協議を行い決定した。

(参考)ヒアリングの項目

- ・ホログラムシールの発行条件を満たす社員証枚数
- ・ホログラムシールの発行条件を満たさない社員証枚数
- ・社員証を持たない人数
- ・社員証以外に発行しているカードの有無
- ・事業者内に常勤する他社(関連会社・テナント含む)の有無

(3) 「住民・事業者確認カード」「ホログラムシール」の発行業務

南港北1丁目の対象事業者から提出のあった発行者リストの内容に基づき、「住民・事業者確認カード」「ホログラムシール」を発行した。

① 南港北1丁目の対象事業者

ア. 発行種別

住民・事業者確認カード、ホログラムシール

イ. 発行業者の選定方法

一般競争入札により決定

ウ. 発行方法及び交付期間

当協議会事務局が発行業者より納品を受けたいえ、各事業者を訪問して交付した。交付期間は、2019年6月5日から6月21日までであった。

エ. 発行実績

127の事業者及び官公庁(大阪府咲洲庁舎の入居者含む)

住民・事業者確認カード 4,583枚

ホログラムシール 7,902枚

※ホログラムシールの発行条件を満たす約1,800枚の入館証については、社員証と同様の扱いとせず、(ホログラムシールではなく)住民・事業者確認カードの発行対象としたため、ホログラムシールの発行枚数は減少した。

② 南港中4丁目・5丁目の住民、事業者

第2回住民・事業者説明会において、住民・事業者確認カードの発行についての説明を行い、対象者に別途案内する旨を周知した。その後、当該カード発行の周知チラシを作成し、2019年5月18日に、南港中4丁目、5丁目の住民、事業者へポスティングによる広報を行うとともに、区広報紙においても周知活動を行った。発行方法は次のとおり。

ア. 発行種別

住民・事業者確認カード

イ. 発行業者の選定方法

一般競争入札により決定

ウ. 発行場所及び申請受付期間

2019年5月18日から6月25日までの間、「G20大阪サミット住民・事業者確認カード発行事務所」を南港ポートタウンショッピングセンター内に開設した。申請受付期間は、2019年5月28日から6月25日までとした。



住民・事業者確認カード発行事務所

エ. 発行方法

G20大阪サミット住民・事業者確認カード発行事務所で即日発行

オ. 発行実績

住民・事業者確認カード1,527枚

(参考) 対象者全体の発行実績

対象者	ホログラムシール	住民・事業者確認カード
南港北1丁目の対象事業者	7,902	4,583
南港中4丁目、5丁目の事業者及び住民	—	1,527

ポスティングチラシ